

平成 27 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	三楽園	所管課	高齢福祉課
所在地	岐阜市北野東827番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	4,264,457円		
施設の設置目的	高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を目的として、三楽園を設置する。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建て ◇敷地面積:349.40㎡ ◇延べ床面積:184.92㎡ ◇開館:昭和59年4月 ◇施設内容:集会室、生活相談室、教養娯楽室、健康相談室、湯沸室、事務室等		

●利用状況

	H27下半年	H27 上半期	H26 下半年	H26 上半期	H25 下半年
利用者数(単位:人)	1,794	2,075	1,866	1,919	1,883
各室利用 人数(人)					

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市老人福祉センター条例施行規則第2条のとおり履行 ②所長・常勤1人・非常勤1人・看護師(1日/月)を配置 ③広報ぎふ及び施設内掲示板を利用 ④ご意見箱の設置。苦情については、「岐阜市社会福祉事業団苦情解決に関する事業実施要綱」により、施設長を苦情解決責任者として第三者委員と協力して解決にあたる仕組みをとっている。
自主事業・提案事業	-	-
施設管理	①夜間警備業務 ②施設清掃業務 ③防災機器保守点検 ④浄化槽維持管理業務	①夜間警備業務(警備機器による警備) ②清掃業務 (年3回、上半期8/13、下半年11/17、3/18実施) ③防災機器保守点検 (年2回、上半期8/17下半年2/19実施) ④浄化槽維持監理業務 (年6回、上半期5/19、7/9、9/15 下半年11/11、1/20、3/16実施)
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	・浄化槽点検口蓋修理6/30 ・危険個所表示板塗装修理10/23…職員対応
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	・岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程の遵守 ・緊急時対応マニュアルに沿って対応する仕組みをとっている。 ・消防訓練の実施(年2回、上半期9/2 下半年2/12実施) ・講座申込書に「利用者家族への緊急連絡先」を記入

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>・2月開催の講座、サークル、オープン利用利用者に対してアンケートを配布し、回収箱を設置して回収した。(実施期間 2月5日～2月26日) ・アンケートの質問項目は、職員の対応、施設や設備、講座の内容、全体的な満足度のほかに来年度の講座受講・サークル活動の継続の確認、講座が受講できなかった場合の対応、新しい講座やサークルの要望、相談事業、来館方法、駐輪場、施設設備について(空調・トイレ・部屋の仕様)、その他とした。</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○回収総数 86枚 (男7人、女79人) ・性別及び年齢 男 60～64歳 0人 65～69歳 0人 70～74歳 3人 75歳以上 4人 女 60～64歳 5人 65～69歳 19人 70～74歳 17人 75歳以上 38人 ・「職員の対応」 満足84% やや満足14% 普通2% やや不満0% 不満0% ・「施設の管理」 満足62% やや満足27% 普通10% やや不満1% 不満0% ・「講座・サークルの内容」 満足75% やや満足25% 普通0% やや不満0% 不満0% ・「全体満足度」 満足76% やや満足22% 普通2% やや不満0% 不満0% ・「講座の継続」 継続95% 継続しない5% ・「相談事業」 健康相談の経験 有59% 無41% 生活相談の相談 無(回答18人) ・「来館手段」 徒歩11% 自転車30% 自家用車(相乗り含む)59% ・「自転車置き場」 満足86% もっと広く14% ・「空調設備」 全館冷暖房に6% 現状のまま94% ・「トイレの希望」 すべて洋式に25% 温水洗浄式に37% 現行のまま38% ・「部屋の仕様」 現行のまま86% 洋室がほしい14%</p> <p>(主な意見) ○職員対応 : 親切なので感謝。いつも優しい言葉使い、ユーモアがある。対応がとても分かり易い。気持ちよく迎えてくれる。 ○施設・設備: トイレがきれい。きれいで感謝している。駐車場の拡充(3) 鏡がほしい(ダンス) ○講座 : 先生が優しい(リズム体操、童謡)、毎回楽しい(さわやか体操)、回数増(茶道) ○サークル : 種類を増やしてほしい(ダンス)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対応・改善</p>	<p>要望等は、当該意見のあった講座等の開催時に、説明している。 (主な意見と対応) ・トイレの改修 → ウォッシュレットへの改修を市へ毎年要望している。 ・駐車場の拡大 → 館としては、少しでも利用者の来館の利便を考え、近隣の民家に協力をいただいている。 ・鏡がほしい → 希望の鏡のサイズが大きすぎ設置できない旨を伝え理解を得た。別に館側の提案も行った。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・「広報ぎふ」の他、ホームページ、施設内の掲示板を活用。 ・講座受講生は定員を超えた場合、第三者立会いのもとで抽選し、もれた人にはサークルへの加入をすすめる。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・指定管理者が発行する機関誌による広報。 ・指定管理者が定めた「情報公開規定」に基づき対応。	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・「ご意見箱」を常設するとともに、相談の受付など日々の業務を通じたニーズ把握。 ・指定管理者が定めた「苦情解決に関する事業実施要綱」に基づき対応。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・利用者からの生活、健康等に関する相談に対応。 ・施設の点検など快適な環境に努める。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・指定管理者が発行する機関誌やホームページ等で広報。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・定期的に利用者アンケート調査を実施。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・経験のある職員を配置し、スタッフの機動的な対応を図る。	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	収支計画の妥当性	・収支計画に沿った運営。	A	A	A
		管理経費削減の具体的方策	・運営管理している他施設との一括発注及び指定管理期間を超えない複数年契約による経費削減。 ・地域住民との連携を図り、ボランティアでの協力を得ることによる経費削減。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・サービスを低下させないように、効率的に職員を配置。	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	・民事再生法や破産法に基づく再生／破産手続き開始の申立てをしていない。 ・市税等の滞納がない。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・過去に高齢者福祉の仕事に携わった経験のある人材を配置。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・運営管理している施設間での人事交流、部門別研究会、職場研修及び派遣研修等により、人材の育成を図る。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・指定管理者が作成した「危機管理マニュアル」及び「地震防災マニュアル」に基づき対応。	A	A	A
		区分評価			A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・地域高齢者福祉の拠点となるように努める。 ・地元の法人その他の団体に業務の一部を委託している。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加など地元団体との連携	・地元自治会、社会福祉協議会、保健センター等と連携を深めていく。 ・施設周辺の日常清掃の実施など地域環境美化へ積極的に取り組む。	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	2月に実施したアンケート結果から、利用者に対する職員対応の満足度は高く、気持ちよく施設をご利用いただいた結果として、利用者には十分評価をいただいたと判断している。 年間利用者数では、昨年度を上回ったが、下半期では、童謡愛唱歌講座を受講していた三輪南地区の方々が、内容がとて面白いことから住所所に近い東部コミセンで同じ講師により新たに自主的に活動を始めて抜けたことやオープン利用の囲碁の利用が減ったことなどが要因で減少となった。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	市が推進する健康長寿社会の構築にとっては、生涯学習の一環としての高齢者の自主的なサークル活動推進の重要性が高まっており、サークル支援の姿勢を明確にして利用者に接した。新しく活動を始めたダンスサークルの利用も毎週利用へと拡大した。
今後の取組み	一昨年の上半期から開催して好評だった「防犯教室」の開催を次年度も計画している。

●所管課の意見

講座・サークル活動の成果発表の機会として、作品展・舞台出演・茶道を披露するなど、三輪北地域の文化祭に積極的に参加した。 地元自治会、地域ふれあい保健センターと連携して、地域住民及び利用者を対象に「健康教室」を開催し、健康維持・意識の啓発に努めている。 また、岐阜市社会福祉協議会関係のボランティア紹介コーナーを設置するなど、地域ボランティアの啓発活動に協力した。

●指定管理者評価委員会の意見

事業計画書のとおり適正に管理運営されており、良好である。 地域行事に参加するほか、健康増進という高齢者に定評のある講座を新たに開講するなど、地域交流の推進や利用者ニーズに適應した方策に積極的に取り組んでいる。 今後も、利用者の要望に応えるよう努力してください。
--